

# グリーンなイチゴ栽培マニュアル

JA大井川イチゴ部会グリサポ推進協議会

## 1 UVB(280~315nmの紫外線)

### (1)使用方法

- ①本ぼ定植後から、夜間3時間照射を行なう。
- ②UVBは、予防防除として用いるため、うどんこ病発病後の照射は、効果が期待できない。
- ③イチゴの株が過繁茂な状態になると、照射を行っていても、うどんこ病が発生するので葉かき、芽かき作業は遅れないように、適期に行うこと。

### (2)使用上の注意点

- ①ハウス開口部には1mm目合の防虫ネットを設置して、ドウガネブイブイ、カメムシなど紫外線に誘引される害虫の侵入を防止する。
- ②蛍光灯とイチゴの株との距離が短いと、紅ほっぺは葉焼け、きらぴ香は裂皮が発生するので注意する。
- ③蛍光灯の寿命は4,500時間のため、約5年が交換の目安になる。蛍光灯が不点灯になる前にUVB照度は減衰し、効果が低下するため、購入先に照射量の測定を依頼する必要がある。



蛍光灯の設置

蛍光灯と茎葉の距離は1m以上離すこと。  
イチゴの草高は30~35cm程度。



葉焼け症状

## 2 天敵アブラバチと天敵温存作物(バンカープランツ)

### 1 コレマンアブラバチの特徴

大きさ	成虫2mm程度
活動可能温度	5～30℃
適温	15～25℃
産卵限界温度	5℃
発育零点	卵で4℃
寄主範囲	ワタアブラムシ モモアカアブラムシなど
注意点	大型のヒゲナガアブラムシ類 には寄生しない

### 2 使用方法

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	使用回数	使用方法
野菜類 (施設園芸)	アブラムシ類	1～2瓶/10a (約500～1,000 頭/10a)	発生初期	—	放飼

### 3 使用上の注意事項

- (1)天敵アブラバチを注文する前に、天敵温存作物とアブラバチ用バンカーを準備する。
- (2)天敵温存作物は平坦地はソルゴー、中山間地はムギを選択する。中山間地は日照時間が短く、高温性のソルゴーが本ほハウス内でも越冬できないため。
- (3)天敵アブラバチの効果は、放飼2～3週間後にマミーの発生を確認すること。天敵放飼後、マミーが確認できない場合は、天敵の定着に失敗したため、追加放飼を行なう。
- (4)二次寄生蜂が天敵アブラバチのマミーに寄生すると、天敵アブラバチは全滅するので注意する。
- (5)出蕾時にマミーががくに付着付すると、ピンセットで除去する必要がある。天敵アブラバチの効果は遅効性なため、出蕾前(超速成栽培は10月上旬頃、促成栽培は10月下旬頃)までに放飼することが望ましい。



天敵アブラバチとムギクビレアブラムシ



マミーから羽化するアブラバチ



肥大期のがくに付着したマミー赤円内



収穫果実のがくに付着したマミー



瓶は横向きで、かん水がかからないように置く。



市販のアブラバチ用バンカーと給水キット(バンカーには餌となるアブラムシが付着している)



中山間地の天敵温存作物はムギを選択






土耕栽培ではハウス谷下の畝にソルゴーをは種

# イチゴの栽培体系(促成栽培)

月	旬	育苗	本ぽ	天敵温存作物	アブラバチ	UVB					
3	上	○ 親株定植									
	中										
	下										
4 ~ 6	上						▽ 受け ポット				
	中										
	下										
7	上	▽ 切り離し									
	中										
	下										
8	上							● は種			
	中										
	下										
9	上	◎ 定植	定植準備								
	中										
	下										
10	上						◇ 放飼	出蓄			
	中										
	下										
11	上	開花									
	中										
	下										
12	上						■ 収穫開始				
	中										
	下										
1 ~ 5	上	■ 収穫終了									
	中										
	下										
6	上						片付け 蒸し込み				
	中										
	下										
7	上	ベッド 消毒									
	中										
	下										

# イチゴの栽培体系(超促成栽培)

	旬	育苗	本ぽ	天敵温存作物	アブラバチ	UVB
3	上	○ 親株定植				
	中					
	下					
4 ~ 6	上	□ 受け ポット				
	中					
	下					
7	上	▽ 切り離し				
	中					
	下					
8	上	 夜冷 開始	定植準備	● は種		
	中					
	下					
9	上	 終了 炭酸ガス 処理	◎ 定植			☆ 照射 開始
	中					
	下					
10	上		出蕾	■ アブラバチ 用バンカー	◇ 放飼	
	中		開花			
	下					
11	上					
	中					
	下					
12	上		収穫開始			
	中					
	下					
1 ~ 5	上		収穫終了			
	中		片付け			
	下		蒸し込み			
6	上					
	中					
	下					
7	上		ベッド			
	中		消毒			
	下					

# イチゴ防除暦

月	旬	FRAC	殺菌剤	うどんこ病	IRAC	殺虫剤	アブラムシ	
9	下	本ぼ定植:UVB照射開始						
9	下	3G+U6	パンチョTF顆粒水和剤	○	デンプン	気門封鎖剤	○	
10	上	アブラバチ用バンカー、天敵アブラバチ放飼						
10	上	M7	ベルコートフロアブル	○	5	スピノエース顆粒水和剤		
10	中	ハダニ密度を40株調査で確認して天敵カブリダニを注文する。						
10	中				6	アフーム乳剤		
10	中	育苗時の葉3枚を除去						
10	中				28	ベネビアOD	○	
10	下	開花期:ミツバチ入室、天敵カブリダニ放飼						
11	下	7C	アフエットフロアブル		29	ウララDF	○	
12	中	アザミウマ40花調査行い、ゼロであることを確認すること。						
12	上				15	マッチ乳剤		
1	上	9D	フルピカフロアブル	○	34	ファインセーブフロアブル		
1	下	頂果房の葉かきとほうき取りを終える						
2	上	12E+17G	ジャストミート顆粒水和剤		28	ベネビアOD	○	
3	上	M7	ベルコートフロアブル	○	29	ウララDF	○	
4	上	7C	アフエットフロアブル	○	15	マッチ乳剤		
5	上	3G+U6	パンチョTF顆粒水和剤	○	30	グレーシア		
6	上	収穫終了後、50℃以下で14日間蒸し込みを行う						

